

第6学年 国語科学習指導案

平成26年4月30日（水）第5校時

1 単元名 「自分の体験と重ねて読み、感想を書こう」

教材名 「カレーライス」

2 単元の目標

- ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、広げたり深めたりすることができる。
- ・感想文を読み合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○登場人物の相互関係や心情を理解し、自分の経験と重ねて読もうとしている。	○登場人物同士の関わり合いと心情の変化をとらえ、感想を持って読んでいる。	○表現の仕方や言葉の使い方に対して関心をもっている。

4 単元について

（１） 単元設定の理由

5年生の学習を通して、「大造じいさんとガン」では、登場人物の心情を中心に読み取り、文章全体の中で自分の好きな場面・表現とその理由をまとめることで読みを深めた。「わらぐつの中の神様」では、物語の構成や登場人物の心情の変化、わらぐつに関連させた人柄の描き方や色・音の効果的な使われ方などの特色を読み取ってきた。これまで学んだ他の物語と比較しながら作品に対する自分の思いを書くことで読みが深まることを期待したい。

（２） 教材文について

思春期の入り口に立つこの時期の児童は、周囲の人間との関わりの中で多くの悩みを抱えて生活している。中心人物が自分と同じ年頃の少年ということで中心人物に自分を重ねて読み、自分の日頃の態度にも気づく良ききっかけとしていきたい。また小説への入門的な作品としても有効であると考え。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

（１） 4つの思考の型を取り入れた学習活動

（２） 物語文を読む10の観点の活用

（３） ワークシートの活用「一人読み」

場面ごとにワークシートを作成し、登場人物の心情が読み取れる箇所などにサイドラインを引き、自分の考えを書き込ませる。

（４） 学習形態の工夫

① ペア音読

二人組になり、読み手と聞き手に分かれる。教科書を交換し、読み手は音読を始める。聞き手は、読み手が間違えた箇所や読み直した箇所に線を引く。読み終えたら、読み間違えた箇所を確認し役割を交代する。二回目からは、聞き手は消しゴムを持ち、前回線を引いたところを間違えずに読めたら線を消す。また、新たに読み間違えがあった場合は新たに線を引く。こうすることで、読み手は自分がどこを読み間違えやすいのか確認でき、正確に読もうとする態度を育てる。

② ペア対話

ワークシートに書き込む「一人読み」と「クラス全体での話し合い」の間に二人組になって自分の考えを伝える時間を作る。このペア対話を通して、全員が自分の考えを実際に「話す」という活動が保証される。言葉を選びながら、自分の考えを伝えることで自身の思考を深めることにもつながる。

【ペア対話の3つの条件】

- ・話したいことを短く区切って、相手と交互に話す。
- ・相づちをうつなど聞いていることを態度で示しながら、相手の話を聞く。
- ・相手の意見を自分の意見と比較しながら聞き、合図があるまで沈黙の時間を作らない。

6 学習指導計画（全7時間）

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	全文を読んで初発の感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・題名から想像したことを発表する。 ・教師の範読を聞く。 ・感想を書いて発表する。 	【関】 初発の感想をもち、学習の見通しをもとうとしている。 (発表・ワークシート)
	2	物語の設定、人物、事件を読み取る	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を10の観点でまとめる。 ・主人公の気持ちの変化を考えながら物語を4つに分ける。 	【読】 物語の設定、人物、事件を読み取れている。 (発表・ワークシート)
	3	第一、二場面を読み、ひろしの気持ちの変化を読み取る。	<div>以前のひろしと違うところにサイドラインをひく</div> (第一課題) <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしの気持ち以前と違うところを探してサイドラインを引き、以前とどう違ったのか考える。【選択】 <div>—(ダッシュ)にこめられたひろしの気持ちを想像してワークシートに続けて書く</div> (第二課題) <ul style="list-style-type: none"> ・文末の—に込められたひろしの気持ちを想像する。【類推】 ・文頭の—との違いに気づく。【比較】 【言葉の力】 「—(ダッシュ)」には書き表せない気持ちを表現していることが分かる	【読】 登場人物の心情や人柄を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)

4	第三、四場面を読みひろしの気持ちの変化を読み取る。	<p><u>以前のひろしと変わったところにサイドラインをひく</u>（第一課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしの気持ちが以前と違うところを探してサイドラインを引き、以前とどう違ったのか考える。【選択】 <p><u>文末表現からひろしの気持ちを読み取りワークシートに書く</u>（第二課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末の「のに」に込められたひろしの気持ちを想像する。【類推】 <p>【言葉の力】「のに」には今までと違うが、はっきりと表せない思いを表現していることが分かる</p>	<p>【読】登場人物の心情や人柄を読み取ることができる。</p> <p>（発表・ワークシート）</p> <p>【言】文末の言葉の使い方に関心をもっている。</p>
5	第五、六場面を読み、ひろしの気持ちの変化を読み取る。	<p><u>前の場面までのひろしと違うところを探しサイドラインをひく</u>（第一課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が動き出すことでひろしの気持ちもお父さんの気持ちも少しずつ変わってきたことを読み取る。【類推】 <p><u>甘口カレーと中辛カレーという言葉を使ってひろしの成長がどう表されているか考えて文章にする</u>（第二課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「甘口カレー」と「辛口カレー」それぞれに表されるひろしの成長の様子を読み取る。【比較】 ・題名について考える。 <p>【言葉の力】「甘口カレー」と「中辛カレー」という言葉がひろしの気持ちを表す象徴的な言葉になっていることに気付く</p>	<p>【読】題名の意味を読み取ることができる。</p> <p>（発表・ワークシート）</p>
6 （本時）	第七場面を読み、ひろしの気持ちの変化を読み取る。	<p><u>お父さんウィーク初日と次の日までのひろしと変わったところにサイドラインをひく</u>（第一課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしの気持ちが昨日までと変わってきたと思うところにサイドラインを引く。昨日までとどう違ったのか考える。【選択】 <p>【類推】</p> <p><u>二・三場面のひろしの思いや行動の表し方との違いをみつけ発表する</u>（第二課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの表現との違いに気づく。また時制の違いはひろしのどんな気持ちの変化を表しているかを考える。【比較】【関係づけ】 <p>【言葉の力】「カレーライス」という題名が文章全体の鍵になる言葉であることに気付く</p>	<p>【関】二・三場面と七場面の表現の違いでひろしの気持ちを理解しようとする。</p> <p>（発表・ワークシート）</p> <p>【言】表現の仕方や言葉の使い方に対して関心をもっている。</p>

3		自分の体験と重ねて読み、感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしは自分の気持ちとどのように折り合いをつけたかを考える。 ・周囲の人間との関わりの中で悩んだ経験と考え合わせて、これからどのように解決していくとよいかを考えて、感想を書く。 	<p>【読】ひろしの心情の変化を読み取ることができる。 (発表・ワークシート)</p> <p>【書】物語の特色について自分の考えをもち文章に書くことができる。(ワークシート)</p>
---	--	--------------------	--	---

7 本時の指導（6／7時）

（1） 本時の目標

- ・第七場面を読み、―（ダッシュ）や語尾の変化（現在形・過去形の使い方）からひろしの迷いがなくなつて気持ちが整理されてきた様子を読み取る。

（2） 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	1 前時までの学習を振り返る。	○前の段落でひろしの気持ちが変化した様子を読み取ったことを思い出す。	
展開	2 本時の課題を知る。		
	お父さんウィーク初日と次の日までのひろしと変わったところを読み取ろう (第一課題)		
	3 第七場面をペア音読する。	○サイドラインを引かせる。	【関】音読をしながらひろしの心情の変化を読み取ろうとする。 (発表・ワークシート)
	4 ひろしの行動やお父さんとの関係が変わったところを探しサイドラインを引き気持ちの変化を読み取る。 【選択】【類推】	○ひろしの行動に着目して気持ちの変化を探す。	
	二・三場面のひろしの思いや行動の表し方との違いを見つけよう (第二課題)		
5 ー(ダッシュ)や「のに」で終わっていないこと、現在形でたたみかけるような表現で書かれていた今までの場面と違い、過去形で表されていることに気づく。【比較】【関係づけ】	○ー(ダッシュ)や「のに」で終わっていた今までの場面との違いや、時制の違いに気づき、表現の違いに込められた、ひろし	【読】表現の違いに気づき気持ちの変化を読み取ることができる。(発表・ワークシート)	
6 ペア対話をして自分の気づいたことを交流す			

	る。その後みんなに発表する。	の気持ちの変化を読み取る。	
ま と め	7 本時のふり返しをする	○文章の表現方法からも 心情の変化を読み取れることがわかる。	